

国内実態調査報告書

テーマ : (演習 I 国内実態調査)
ゼミ名 : 平野 健 ゼミ
調査日 : 2023年9月13日(水)~9月16日(土)
調査先 : ひめゆり平和祈念資料館、沖縄平和祈念資料館、普天間基地、沖縄国際大学、
辺野古、キャンプハンセン、首里城、グスク(城跡)
授業科目名 : 演習 I・II
参加学生数 : 15名(3年生)

調査の趣旨(目的)

太平洋戦争の沖縄戦の戦跡・資料館と在沖縄米軍基地を見学し、戦後のアメリカと日本の関係の一側面を理解を広げることを目的とする。事前に沖縄県が発表している米軍基地に関する動画、および佐藤学・屋良朝博『沖縄の基地の間違ったうわさ 検証34個の疑問』岩波ブックレット、2017年を用いて基礎知識を学び、当日は米軍基地については現地のガイドから資料と解説を受けて見学した。

調査結果

初日(9/13)は太平洋戦争の沖縄戦を「ひめゆり平和祈念資料館」「沖縄戦跡平和祈念公園」「沖縄平和祈念資料館」を訪問した。

二日目(9/14)は現地ガイドの案内の下、「普天間基地」「沖縄国際大学米軍ヘリコプター墜落現場」「嘉手納基地」を見学した。その後、予定をしていた「辺野古基地建設現場」「キャンプシュワブ抗議行動現場」の見学は、時間の都合で現地の抗議行動が終了してお話を聞けなくなったため、急遽予定を変更し、戦後米軍基地が一部返還された北谷町砂辺を訪問し、一方で商業施設(アメリカンビレッジなど)開発の成功、他方で米軍人向け高級賃貸住宅建設によるジェントリフィケーションという複雑な様相があることをお話頂いた。

最終日(9/16)は琉球王国の歴史に触れるという趣旨で中城城跡(世界遺産)を訪問した。